



## 活動拝見



☺ 自筆原稿ありがとうございました!

高田 辰見さん (静岡市清水区)

多くの人が足を運び利用している静岡市清水区の清水郵便局。私は、ここに県立美術館のポスター掲示をお願いしています。郵便局にお願いするのは、かなり勇気が必要でしたが、快く引き受けてくれました。局内に入って右手の大きな柱に掲示されたポスターは、来局のお客様には所用を足す間のしばしの目の楽しみともなりますし、外を通る歩行者からもガラス越しに見えるようになっていて、とても効果的です。

さて、県立美術館を応援する私の小さな活動は他にもあります。いわゆる口コミとパンフレットなどの手渡しによるお誘いです。反響は大きくて、定期的な集まりでお会いする方々からは、展覧会前には「楽しみにしている」、展覧会後には「とてもよかった」「また行ってくる」「いつも時間の都合でなかなか行けないが、夫婦で行ってきました」など

色々な声が寄せられます。中には「いつもパンフレットが届くのを楽しみにしている」「美術館近隣やプロムナードを歩くのが楽しみ」という方もいました。

私のお手伝いできる範囲はとても狭いのですが、1人でも多くの方々に来館していただけるよう、これからのできるだけ活動を続けたいと思っています。そして、これをとりわけ若い人々につないで行けたらと思っています。嬉しいことに最近では私の娘も友人を誘って来館しているようです。



## グループ紹介

### 第3回/アートセンターAグループ

アートセンターAは《図書閲覧室を魅力ある空間に!》を目標に活動しているグループで、主に図書室の改善と運営を行っています。たとえば今回の『ヴェネツィア絵画のきらめき』展では、

美術館蔵書の中から関連図書を一所に集めて紹介し、利用者への便宜を図っています。またヴェネツィアの華麗な色彩を意識して、テーブル上をチラシやアートフラワーで演出してみました。

図書室はエントランスを抜けた左奥にあります。私たちはここを魅力的な空間にするべく、これからも模索とチャレンジを続けて行くつもりです。美術館に来たらどうぞお立ち寄りください。



◆カラーでお見せできないのが残念!

#### ● 書庫は宝の山、探してみませんか? ●

閲覧室に並んでいる美術関連本はほんの一部でしかありません。その奥の書庫には、入手困難な洋書はじめ専門書やカタログ等美術に関する貴重資料(約36,000冊)が出番を待っています。カウンターに請求していただければほとんどの書が閲覧可能です。

#### ● 探し方は簡単です! ●

閲覧室には静岡県立美術館蔵書の検索用パソコンが2台設置されていて、利用者が自由に検索することができます。探す本がわかっている場合は書名、著者名から。はっきり決まっていない場合は主題、分野から検索してみましょう。わからない時はお気軽にカウンターまで!

※本の貸出し・コピーはできません

この夏は県立美術館が見逃せない!

巡回展の最終地です!

### 名品と映像でたどる「NHK日曜美術館30年展」

■会期 7月24日(火)~8月31日(日) ★8/21は「県民の日」のため入場無料

NHKの人気美術番組「日曜美術館」の放送30周年を記念した企画展。過去に放送された中から、特に印象に残る作品や作家をピックアップ、番組で紹介した作品を中心に、76点が展示されます。

今展ではこれに加え、懐かしい出演者が作品・作家への強い思いを込めて語る様子や、作家本人のアトリエでの制作風景などの貴重な映像が会場内でご覧になれます。作品と映像をあわせてご覧いただければ、更に興味が増すこと請け合いです。

●石澤典夫アナウンサー(6年間番組司会を担当)講演

『日曜美術館での出会い』(仮題)

\*8月4日(土)午後2時~3時30分 \*会場:講堂



同時開催

### 大追悼展「石田徹也一悲しみのキャンパス」

■会期/7月24日(火)~8月19日(日)

※NHK展の会期と違うので注意願います

■会場/県立美術館県民ギャラリー(1階)入場無料

昨年、NHK新日曜美術館で紹介されるや、大反響をまきおこした、焼津市出身の夭折の画家石田徹也。現代人の心の奥底に潜む「痛みや悲しみ」を描いて、多くの若者の心を捉えて離さない。目が画面にくぎ付けになりそうなくらいインパクトのある作品が約150点展示されます。

●山下裕二教授(明治学院大学/番組で石田徹也を紹介)講演

『石田徹也の視線、石田徹也への視線』

\*8月5日(日)午後2時~4時 \*会場:講堂

